

# 2019 年度コラボミュージアム作品づくりコンテスト

## 小学校・中学校部門 アピールシート

2019年 11 月 18 日

所属名 : 千葉県 柏市立 手賀中学校

実践学年組: 3 年 1 組

氏名: 大橋紳一郎

教科	総合的な学習の時間
実践期間	2019年 4月 25日 ~ 2019年 5月 17日
実践タイトル (35文字以内) 現地情報を活用した、修学旅行班別行動の実行と配信サービスへの試み	
実践の目的 ・事前に立てた行動計画を土台にしながら、現地の情報を共有し、修正しながらより良い工程をつくりあげ、情報活用能力を育成する。また、様子を他学年に提供することで、学年間の情報交換に役立てる。	
実践のポイント・工夫 ・事前の行動計画を土台に、他の班と情報を共有して当日の見学先の状況を知り、臨機応変に修正を加えさせた。情報交換を行わせることで、情報を得る、発信する、という意識を持たせ、興味関心が高まるようにした。 ・学校に残っている他学年も学校でコラボノートを開覧できるようにしたので、早い段階から関心を高め、「リアル感」を持たせた。 ・試験的に保護者も閲覧できるようにした。 ・短期間で修学旅行のまとめができる。(新聞作り)	
実践内容 (簡単に) ・事前計画づくり (PCの活用) ・京都の地域学習 (2時間程度) ・コラボノート活用の練習 ・班別行動の様子 (生徒のコラボノートへの書き込み) を学校や家庭でも閲覧することができるようにしたので、今までは修学旅行の課程が終了しないと得られなかった旅の様子が中継されているようなリアル感を持って見る事ができた。	
(コラボノートを) 使用してよかった点を教えてください。 ・班別行動で別々な動きをしても、コラボノートでのやり取りで、学級としての一体感が生まれていた。また、今の情報が入手できることで、知らない土地での行動をサポートしあう事ができた。・当日の行動記録からまとめの新聞作成が行えたので無駄な時間がなかった。・自分たちで考えて、情報を発信し交換することで、生徒達の意欲が高まった。・国語の授業で『修学旅行で一句』詠んだものを、急遽まとめに入れることにしたのだが、簡単に追加できたのもデジタルの良いところ	

### 自由記述欄

コラボノートを使っの班別行動は、1年目は修学旅行へ行っているメンバーだけで宿泊先で発表を行ったが、2年目は範囲を広げ学校内で、そして3年目の今年には保護者まで閲覧できるようにしました。

保護者の方達からは「様子がよくわかった」「親だけでなく兄弟たちも含め家族みんなが関心を持ち、話題になり盛り上がった」「(事前に生徒達に伝えてはいるが)覗き見しているようで申し訳ないような気がした」などの感想を頂きました。

来年は校内では閲覧だけでなく、修学旅行中に他学年と交流することも考えています。

## 実践記録の概要（単元略案）

※コラボノートを活用した場面だけではなく、全体の学習の流れとコラボノートをどの場面でどのように活用したか記載してください。

### 全〇〇時間

時間数	学習活動	先生の指導・支援 および評価	コラボノートの活用
3	奈良、京都について調べよう	ガイドブックや観光案内、インターネットを活用して調べさせた。	
2	班行動計画づくり	インターネットも活用して、時間を確認しながら計画づくりをさせた。	
2	コラボノートの使い方を学ぶ	修学旅行でのコラボノートの使い方について、シェイアール四国の方からレクチャーをしてもらう。	基本的な機能や便利な機能について学ぶ。
5	コラボノートを活用して修学旅行での班別行動を行う。	本部との通信の確認を行い、生徒の書き込みで行動を把握し、コメント内容をチェックした。学校のほうでも内容を閲覧、確認した。	班別行動時に見学先の写真やコメントや情報を書き込みする。。
2	(学校にて)まとめとして新聞作成を行う。	コラボノートで、班別行動の書き込みから新聞作成をさせた。	班別行動の書き込みから写真やコメントを流用して新聞作成を行った。